



町内(上山守)のとんど祭(芦田川岸にて 2023年1月9日)

理 念

地域に望まれる理想の医療を目指して

基本方針

1. 私たちは患者さんの立場にたち、安心して満足できる医療を提供します。
1. 私たちは患者さんに心から信頼される医療人を育成します。
1. 私たちは地域に密着した病院としての機能向上を図ります。

小粒でも大きな支え、続く安心



医療法人
(社)玄同会

小島病院



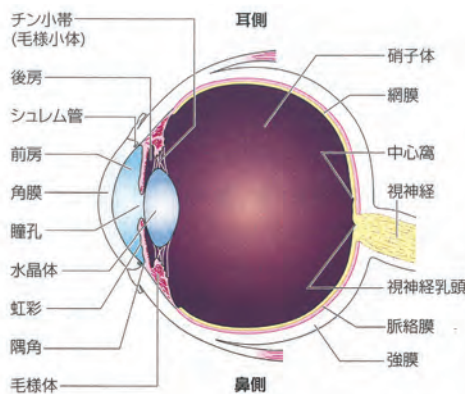
白内障について

眼科部長

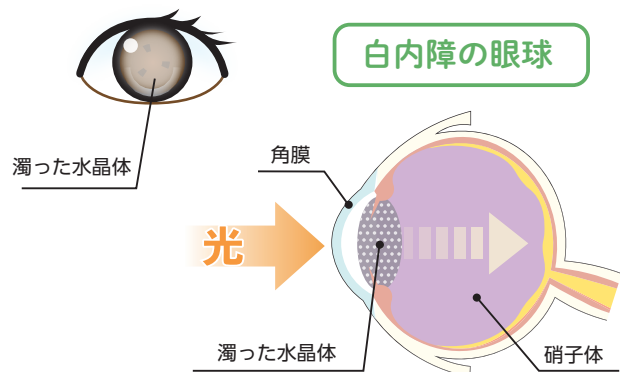
瀧川 泰 医師

白内障とは眼の中の水晶体が混濁した状態のことです。

白内障は若い人でもなることはありますが、患者さんのほとんどが60才以上の方で、70才以上では約80%、80才以上ではほぼ100%の方に症状がみられます。



眼球の水平断面



水晶体が濁り、光が通りにくくなります。

原因

- ① 老化によるもの
- ② アトピー性皮膚炎
- ③ 糖尿病
- ④ ステロイド剤の長期使用
- ⑤ 目の外傷
- ⑥ 頭部、顔面の放射線治療後

症状

- ① 視力低下
- ② 霧視感(かすんで見える)
- ③ まぶしさ

治療

① 点眼薬による治療

現在ピレノキシリンという点眼薬がありますが、白内障が治癒することではなく、少しでも進行を遅らせる目的で使用します。

② 手術

白内障が進行した場合は手術が行われます。この手術では濁った水晶体を超音波で粉碎して取り除き、その代わりに人工水晶体である眼内レンズを挿入します。手術時間は10分～15分で痛みもほとんどなく、比較的安心して受けられます。

患者さん本人が生活に不自由を感じるようになれば手術を検討しましょう。通常、視力が0.6～0.7以下になると手術を考えてよいと言われています。

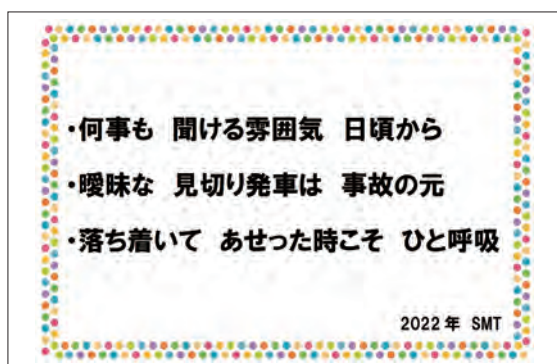
ただ、患者さんの年齢、職業(例えば、運転手さん、細かい作業をする業務の方など)によっては、早期に手術をすすめることもあります。たとえ、視力が1.0あっても車の運転に不自由があったり、仕事上の作業に危険を感じるようでしたら手術をした方がよいこともあります。

最後に

日常生活に支障がない初期の段階では点眼薬で経過をみて、視力の低下や目のかすみにより生活に不自由さを感じるようになったら手術を検討しましょう。現在、全国で年間130万人の方が手術を受けておられます。手術手技も進歩してきており、多くの患者さんが安心して受けることができる手術の一つです。手術をご希望の場合は近隣の連携医療機関をご紹介しますので、お気軽にご相談ください。

SMT (セーフティマネジメントチーム) の活動

厚生労働省は11月25日を含む1週間を「医療安全推進週間」と定め、患者さんの安全を守るための活動を推進しています。当院でも、職員一人ひとりの医療安全への関心を高め、啓発の機会として医療安全推進週間に毎年「安全標語」を職員から募集しています。今年は「確認の徹底と話しやすい環境を作って安全行動」のテーマで募集し、70点の標語と7点のポスターの応募がありました。その中で、右の作品が優秀作品として表彰されました。これからも、患者さんが安心して安全な医療を受けられる環境の整備と改善に努めてまいります。



ICT Infection Control Team の活動

ICTとはInfection Control Team(感染制御チーム)の略称で、院内で起こる様々な感染症から患者さん・ご家族・職員の安全を守るために活動する組織です。医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・事務員などの多職種が集まり、病院全体の感染対策活動に従事しています。

その活動の一つにICTラウンドがあります。毎週火曜日にICTメンバーで感染症の発症報告や、抗菌薬の使用状況などの把握を行い、その後院内のラウンドを行います。手指衛生や感染性廃棄物が適切に破棄されているかなどを環境の確認を行い、必要時指導を行っています。



手指衛生の確認



感染性廃棄物の適切な破棄を確認

コロナ禍で3年間中止していた パーキンソン病体操クラブを 開催することができました。



当院リハビリテーション科は神経難病の患者さんと関わる機会が多く、中でもパーキンソン病患者さんの割合は多くなっています。パーキンソン病とは、徐々に体が動かしにくくなる神経難病の1つです。少しでも病期の進行を遅らせるため、継続した運動が重要となります。

パーキンソン病体操クラブとは在宅生活を送られている比較的軽症のパーキンソン病患者さんとそのご家族を対象に、集団で体操やレクリエーションを行い、楽しく病期の進行を遅らせる一助となるよう2014年より開始した取り組みです。コロナ禍ということもあり、例年よりも人数を制限して北館講堂にて感染対策を行ったうえでの開催となりました。

体操クラブでは座って行うことのできるストレッチや筋力運動、体を動かすレクリエーションを行いました。レクリエーションでは2チームに分かれてご家族、スタッフも一緒に入って競い合い、笑い声が溢れていました。

当院脳神経内科の石川医師からパーキンソン病について症状やお薬についてだけではなく「こんな時どうするの?」といったQ&Aも交えて分かりやすくお話しいただきました。終了後のアンケートでは「病気に対して前向きな気持ちになった」という意見もあり、患者さんやご家族も含め、病気に対する理解を深める良い機会となりました。

今回ご協力いただいたエーザイ株式会社様、当院地域連携室スタッフの力添えもあり、例年と変わらず活気の溢れるパーキンソン病体操クラブとなりました。

これからも病期の進行を遅らせることができるように、また、参加者同士の交流の場となるように、スタッフ一同取り組んでまいります。



理事長挨拶



動画に合わせて体操をしました。



石川医師による講和

災害対策訓練を実施しました

2022年 11月7日(月)～9日(水)

近年は毎年日本各地のどこかで大きな自然災害が発生しており、当院では年1回、災害対策訓練を実施しています。今回は自力で移動の困難な方を安全な場所へ搬送するための訓練を行いました。

11月7日(月)～9日(水)の3日間にわたり、救護用担架を用いた搬送訓練を実施し計85名の職員が参加しました。最初にリハビリテーション科スタッフが訓練説明とデモンストレーションを行い、担架の使い方や搬送時の注意点を確認しました。次に、4人1組の搬送者が患者役を乗せて平行移動と垂直移動(階段の昇降)の訓練を行いました。安定した搬送のためには、身長や体格の近い人が搬送のペアになること、階段の昇降では掛け声をかけながら二足一段歩行(一段登るのに一度両足を揃えるようにする)で進むことなどがポイントです。「いち、に、いち、に」と声を揃えて搬送し、全員が安全に気を付けながら真剣に取り組みました。

有事の際には患者さんの安全確保を第一に、職員一人ひとりが適切な対応ができるよう今後も訓練を重ねてまいります。



4人で持ち上げていきます



階段は二足一段歩行で昇降します



支柱担架の使い方確認しました

ケアモール 芦花

サービス付き高齢者向け住宅 芦花(28室)のご案内

小島病院が運営する高齢者向け住宅で要支援から要介護の方が入居しています。医療機関が運営しているため、医療の面でもご安心していただけるサービスを提供しております。

入居面談は随時承っております。

右のQRコードから
ホームページをご確認ください。



お問合せ先

ケアモール 芦花 担当:前原・枝廣
福山市駅家町上山守196-1
tel.(084)961-3010

演題

「医療的ケアが必要な子どもの在宅療養支援について」

演者

順天堂大学医療看護学部小児看護学准教授

倉田慶子先生(小児看護専門看護師)

日時

2022年11月18日(金)18:30~19:45

会場:小島病院北館講堂+Web配信

座長:訪問看護ステーションこばたけ 中川陽子

この度、順天堂大学医療看護学部(小児看護学准教授)の倉田慶子先生からWeb形式にて「医療的ケアが必要な子どもの在宅療養支援について」のご講演を頂きました。当院は小児科はありませんが、訪問看護ステーションこばたけでは医療的ケアが必要な子どもの訪問看護を行っています。

倉田先生からは、医療的ケア児の概念や支援法について、また福山市の現状も詳しくお話いただきました。ハイブリッド(会場+オンライン)で開催し、医療従事者だけでなく行政や障がい者施設など多くの連携事業所から100名以上の参加がありました。

参加者からは「緊急時にお母さんと一緒に受け入れてあげられる場所の確保が重要だと思った。」「これからは高齢者の制度サービスだけでなく、小児や成年期などの幅広い知識や対応技術が必要。訪問看護師さん、相談支援専門員さんや各事業所と連携し家族みんなが日々を幸せに過ごしていけるように支援していこうと改めて感じました。」など沢山の感想をいただきました。今回の学びを実務に活かしていきたいと思います。



日本医師事務作業補助者協会
第11回全国学術大会に参加して

演題

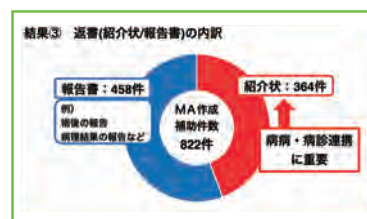
「返書作成から考える医師事務作業補助者の役割
～地域医療を支えるために～」

日時:2022年11月20日(日)~12月19日(月)

場所:Web配信

診療支援室 橘高加奈

日本医師事務作業補助者協会の第11回全国学術大会が2022年11月20日から12月19日にわたりオンラインにて開催されました。当院からは『返書作成から考える医師事務作業補助者の役割～地域医療を支えるために～』と題してオンデマンド配信による演題発表を行いました。私自身初めての学会発表で準備に大変手間取りましたが、上司や先輩方の多大な協力により無事学会発表を終えることができました。結果、思いがけず「優秀賞」をいただきました。今回の経験を活かし、今後も様々なことに知見を広げ、自己研鑽に努めたいと思います。



上山守老人会で講演会

演題

「認知症のいろは」

日時: 2022年11月10日(木)13時~14時

場所:上山守老人集会場

講師:小島敬太郎理事長(脳神経内科)

理事長 小島敬太郎

この度、駅家町上山守の老人会からお声がかかり、認知症についての講演会を行いました。「認知症のいろは」と題し、認知症の概要やケアについてお話ししました。講演後はご出席いただいた方から囲まれ、「とても勉強になった」、「話す方も聞いて頂く方もお互い年を取りましたね」と和やかな会となりました。有難うございました。コロナ禍でWebが主流になっても、やはり人と人との交流が一番です。今後も感染対策を行いながらできるだけ地域・現地に出向き健康増進活動を行ってまいりたいと思います。



栄養科 だより

vol.23



今月のイッピン!

人参のきんぴらバター風味

人参を胡麻と無塩バターで風味づけすることで、無塩でもおいしく食べられます。人参本来の味が感じられる一品です。



(1月14日の昼食)

今月の行事食

魚介類の包み焼きランチ

鮭、ホタテ、えびなどの魚介類を紙で包み、おいしさを逃がさず焼きました。シャキッとした歯ごたえの白菜サラダと、甘味のあるカブのスープもお勧めです。

(1月18日の昼食)



今月の
ちょっとひとこと

きんぴらを
作ってみよう!

材料(2人分)

人参 …… 100g
ごま油 …… 15g
白ごま …… 5g
無塩バター … 5g
砂糖 …… 1g

作り方

1. フライパンにごま油を熱し、千切りにした人参を炒める
2. 火を止めて、バター、砂糖、白ごまを加える



少し歯ごたえが残る程度に加熱するとシャキシャキとした、あっさり味に、また、軟らかくなるまで加熱すると甘味が際立つ味わいになります。お好みで調節すると良いでしょう。人参の他にジャガイモやインゲンなども美味しいです。麺類や丼物など塩分が多い料理の副菜にお勧めです。

栄養科だよりは毎月発行しています。
院内の掲示やホームページでもご覧いただけます。

ホームページ
<https://kobatake.or.jp>



編集後記

毎年12月、その年の世相を表す「今年の漢字」が発表され、去年は「**戦**」が選ばれました。「戦」が選ばれたのは2回目ということで、過去選ばれた漢字を調べてみると「災」「偽」「毒」など暗いイメージの漢字が選ばれることが意外と多いように感じます。今年は「楽」「喜」「幸」などの明るいイメージの漢字が選ばれる1年に、是非したいものです。

シン・タローマン

●診察時間

	午 前	午 後
診療時間	9:00 ~ 12:00	16:30 ~ 18:00 (眼科のみ) ●火曜日～金曜日 15:00 ~ 18:00 ●土曜日 13:00 ~ 15:00
受付時間	8:15 ~ 11:30	～ 17:30 (眼科のみ) ●火曜日～金曜日 ～ 17:30 ●土曜日 13:00 ~ 15:00

※予約の方は予約時間に従い、受付をお願いします。
※泌尿器科は手術の都合で外来診療受付時間に変更になることがあります。

●診療科目

内科・脳神経内科・循環器内科・消化器内科・呼吸器内科・糖尿病内科
泌尿器科・眼科・リハビリテーション科

●外来診療担当表

2023年2月1日現在

曜日 科目		月		火		水		木		金		土	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内 科	1診	理事長	石川	石川	石川	土井 (糖)	石川	石川	船石 (呼)	野中 (神)	野中 (神)	理事長	田村 (消)
	2診	土井 (糖)		原	原	西原(循)※2	原	松原 (消)	磯辺※1 (糖)	松原 (消)	原	原	
						院長							
3診	院長	院長	伊藤※1 (糖)		院長	船石※3 (呼)	船石 (呼)		院長		吉田/ ※4 院長/石川		
内視鏡診察室(予約)		原		山下				松原		松原		田村	
泌尿器科	1 診	大口	大口	大口		大口		大口		山中	山中	大口	
	2 診	宮本		宮本		宮本	宮本	後藤	後藤	宮本		宮本	
眼 科				瀧川	瀧川	瀧川	瀧川	瀧川	瀧川	瀧川	瀧川	瀧川	瀧川

※1 9:00～15:00までの診療となります。
※2 15:30～16:30までの診療となります。
※3 15:00～17:30までの診療となります。
※4 第1・3土曜日は、吉田医師
第2・5土曜日は、院長
第4土曜日は、石川医師

予約制による内視鏡他の検査外来／月・火・木・金・土

●外来担当医

脳神経内科	小島 敬太郎 (理事長)	消化器内科	原 睦展 (診療部長)	糖尿病内科	土井 綾乃	泌 尿 器 科	大口 泰助 (副院長)
	石川 賢一		松原 由佳		磯辺 隼人		宮本 克利
	野中 恵		山下 由美子		伊藤 駿		後藤 景介
循環器内科	小島 廉平 (院長)	呼吸器内科	田村 陽介				山中 亮憲
	吉田 賢司		船石 邦彦			眼 科	
	西原 大裕						瀧川 泰 (部長)

学会などへ出席のため、休診または担当医が変更になることがあります。診療予約変更は午後から電話等でご連絡ください。

●休診日

- 日曜日・祝日 (全科)
- 火・土曜日午後 (泌尿器科)
- 月曜日 (眼科)

●面会時間

- 平日／13:00～19:00
- 日・祝日／10:00～19:00

※コロナ禍のため、現在中止しています。

こばたけ びょういん

医療法人 (社) 玄同会

小島病院

〒720-1142 広島県福山市駅家町上山守203

TEL (084) 976-1351(代)

FAX (084) 976-6309

<https://kobatake.or.jp>

